

令和3年度生野区区政会議(第2回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日: 令和3年11月17日(水)

場所: 生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
前田委員	生野区で実施しているキャリア教育はどのようなものがあるか、またこういうキャリア教育をしたいというものがあれば教えてください。 いくみんのほんだなについてどのような周知をしているのか、統廃合になった学校の図書室にあった本を活用することが出来るのか知りたい。 持続可能なまちづくり事業に関して公募しているということがわかりにくい。ぜひ今後もこの事業を続けてほしい。	区役所から提供しているものとしては、31の団体・個人の講師の登録があり、その中から学校の依頼に基づいて出前授業を行っております。事例としては、プログラミング体験や漫才体験、区内の企業としては、リゲッタ、吉持製作所、大都、ロート製薬など、区外の企業ではダイセン電子工業、吉本興業、ダイワハウス、ソフトバンクといったところに登録頂いております。 キャリア教育の実績としては、昨年度17件の出前授業を行っております。 いくみんのほんだなについては、ホームページで周知し、乳幼児健診の折に配布しております。また区内の子育て支援センターやつどいの広場、図書館、区役所に1,000部配架しております。今後も広報紙で周知し、SNSなども活用して周知方法を工夫してまいります。 統廃合のあった学校の図書室にある本については、基本的には教育委員会の所管となり、他の学校で活用されることとなります。 持続可能なまちづくり事業に関しましては、平成27年度から実施し、応募件数も少なく、今年度の募集については応募がなかった状況もあり、事業の選択と集中ということもあり、来年度については事業の中止を検討しております。
永松委員	こどもを支援するには、親自身が安定していないと、こどもに安定した環境を家庭内に用意することは難しいので子どもの支援を考える時にはぜひ保護者の支援も併せて考えてほしい。	—
大倉委員	生野の図書館について建物も古いの、エスカレーターに乗って3階まで上がっても暗い。ほかの区のようなこどもたちが行きやすいような図書館に変わるような話はないですか。 また、学校跡地の図書館の開放の話で当初は地域に開放してもらえるような話だったと思うのですがどのようになっていますか。 また、学校跡地については、事業者任せではなく、地域に開かれた施設であってほしい。	生野図書館は教育委員会事務局が所管しており、今の環境の中で様々な工夫をされています。区役所としても、今後も引き続き、より良い環境となるよう、教育委員会事務局に機会を捉えて要望していきます。 学校跡地の関係については、学校跡地ごとの条件の整理をしていく地域の検討会のなかで検討の中の一つとして加えていきたいと思います。
塚本委員	検診の受診率について様々な工夫はされているようですが結果はいかがでしょう。	検診の受診率について、今年は年に1回、総合がんDayを設けすべてのがん検診を受診できる取り組みなどを行い、10月末までの充足率は約80%ぐらいまでできています。今後も広報など幅広く周知するとともに5年間受診していない方に郵送で受診勧奨を行うなどの取組を実施していきます。

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
廣川委員	内向きではなく生野区から全国へむけた対外的PRして何をしているか 子どもが減ってきた中で、生野区への移住者を増やすにはどこから引っ越してもらう戦略なのか。 また、学校の統廃合による学校の跡地をどのように活用していくのか。	・全国的な少子化の中で、全国で同じことを考え、子育て世代の移住の奪い合いの状況。小さな自治体の子育て施策を打ち出し続けることが困難になった時、生野区は大阪市としての地盤もあり交通の便もよく、戸建て入手しやすく、これから子育て世代に選ばれるまちであると信念を持ち、子育て施策をはじめ、シティプロモーションを行ってきました。 ・生野区は共生のまちの歴史があり、また今ではアジア圏からたくさんの若者がやって来て生野区に住んでいます。さまざまな国の人、地域の人がつながる活動として「やさしい日本語」という取り組みを行っており全国に発信しています。 ・閉校になった中学校で、あえて学校ということで「いくのみんなの文化祭」を区が協力する形で、地域のさまざまな人、ものづくりの人たちが、ワークショップをおこなったりする文化祭を開催し、積極的に情報発信しています。
森本委員	学校の跡地について、事業者と地域の方を区役所の方にうまくつないでもらって地域のなかで一緒にやってほしい。 色々な方が直接相談に来れるようなオープン窓口の日を区役所でつくってほしい。	—